

# はやした歯科新聞

4  
Apr

<http://www.hayashita.jp/>



## 口腔ケアと脳卒中

歯周病は血液疾患、呼吸器疾患のほか全身にさまざまな影響を及ぼし、脳卒中との関連も注目されています。問題になるのは歯周病原因菌。歯周病やう歯を放置することで、歯肉などの傷から菌が血管内に入り、心臓の弁に菌が付着すると感染症心内膜炎という病気になるだけでなく、その菌が血液を介して脳に流入して、細菌性の脳動脈瘤をつくる可能性があります。厄介なことにこの細菌性脳動脈瘤は脳内の細い血管にできやすく、脆く破裂（くも膜下出血）しやすいのです。

歯周病は首の動脈（頸動脈）の動脈硬化を引き起こす可能性も指摘されています。さらに脳卒中を発症後は、麻痺や筋力の低下で歯磨きが難しくなることも多くなります。歯科通院による歯周病対策は、脳卒中の予防・再発を防止するうえでとても重要な意味をもつのです。

プラーク（歯垢）



管理不足

歯周病・う歯



原因菌が血液中に侵入

全身疾患

糖尿病、心筋梗塞、誤嚥性肺炎、  
脳卒中、メタボリックシンドローム  
骨粗鬆症、認知症、血液疾患、  
低体重児出産、早産 など



一般歯科、予防歯科、口腔外科、インプラント、審美歯科、ホワイトニング

はやした歯科医院

〒854-0043 長崎県諫早市立石町22番8号

TEL&FAX: 0957-32-8181

